

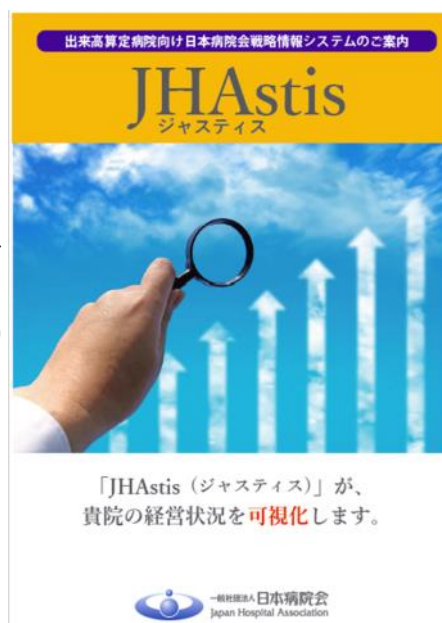
## GHC、日本病院会と業務提携 出来高算定病院向け経営支援ツールで

急性期病院を中心に経営支援サービスを行う株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン（GHC※1＝本社・東京都新宿区、代表取締役・渡辺幸子）は、一般社団法人日本病院会（JHA※2＝本部・東京都千代田区、会長・堺常雄）と「出来高算定病院経営支援事業」で業務提携し、4月からJHA会員で出来高算定病院向けの経営支援ツール「JHAstis（ジャスティス）※3」の提供を開始します。

「JHAstis」は、レセプトデータを活用した経営分析システムです。利用する病院の担当者は、自病院の経営改善に必要な各種データを、定期的にレポート形式でインターネットを介して受信し、確認することができます。レポートは、診療報酬改定に伴う影響を試算するなど臨時発行するものもあります。サービス本格化に先立ち、3月中旬から数十病院に向けて、2016年度診療報酬改定に関する「臨時レポート」を発行しました。

定期配信するレポートは、自病院の（1）主要経営指標分析（2）診療科別分析（3）加算分析—から成る「月次レポート」がメインとなります。他病院とのデータ比較から自病院の経営改善につなげる情報を得る「ベンチマーク分析」を軸とした「定期レポート」も4カ月に1回配信します。対象はJHA会員で出来高算定病院の先着200病院に限ります。JHAstisの事業初年度（2016年度）は無料です。

GHCは、急性期病院の経営コンサルティングで培ったDPCデータ（※4）を軸とした経営分析ノウハウを、出来高算定病院にも生かすことで、事業領域の拡大を目指します。JHAは病院経営支援事業を強化することに加え、会員で出来高算定病院のレセプトデータを分析することで、独自の政策提言などにつなげていく方針です。



### （※1）株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン

医療専門職、ヘルスケア企業出身者、IT専門家らで構成される経営コンサルティングファーム。急速な高齢化で社会保障財政の破たんが懸念される中、「質の高い医療を最適なコストで」という理念を実践する具体的な手法として、米国流の医療マネジメント手法「ベンチマーク分析」を日本に初めて持ち込み、広めたパイオニアです。  
<http://www.ghc-j.com/>

### （※2）一般社団法人日本病院会

1951年設立の病院団体で、2451病院（2016年3月時点）が所属する。同会の会員で300床未満は1572病院。このうち、出来高病院は1115病院ある。  
<http://www.hospital.or.jp/>

### （※3）JHAstis（ジャスティス）

「Japan Hospital Association Strategy Tactics Information System＝日本病院会戦略情報システム」の略称

### （※4）DPC（Diagnosis Procedure Combination：診断群分類）

米国に倣った新たな病院の支払い方式に対応した診療項目の分類方法です。これまでの積み上げ式の出来高制度と比較し、包括支払い制度のため、質を担保した上で最適な医療を提供しなければ、コストがかさみ、利益を圧迫することになります。

本件のお問い合わせ：株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン  
担当：広報（島田） TEL：03-6380-2401（代表） mail：ghcpr@ghc-j.com  
JHAstisのお問い合わせ：一般社団法人日本病院会  
担当：情報統計課「JHAstis」係 mail：jhastis@hospital.or.jp